

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 学年	2 単位	必修
担当教員			
座間味 愛理			

講義概要	「保育の心理学Ⅰ」で習得した子どもの発達に関する知識を基盤に、保育実践で必要になる言葉・仲間関係・自己制御・社会性の発達に関する知識を深める。また、現場で実際に起こりうるような臨床的問題、人の幼児期以降の発達について理解を深め、実践場面で子どもの発達を支援する方法を考察する。それらの考察を学生同士で発表し、多様な考え方を共有、議論する力を身につける。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、問題設定の方法 みんなの知りたい保育の心理について、関心を調査する 学習課題 復習：保育の心理学Ⅰの復習 予習：実践・発達心理学のもくじ概観</p> <p>第2回 保育の心理学における問題設定、評価方法の設定 みんなの知りたい保育の心理について、関心ランキングを発表する グループを編成する 評価方法について共有する 学習課題 復習：配布資料の整理 予習：問題設定と評価方法の一致について確認する</p> <p>第3回 保育の心理学における学習評価方法 学習課題 復習：配布資料の確認 予習：自己の発達（保育の心理学Ⅰ 第4章）</p> <p>第4回 関心ランキング5位（例：自己主張と自己制御） 学習課題 復習：教科書30～37ページ 予習：社会性の発達（保育の心理学Ⅰ 第7章）</p> <p>第5回 関心ランキング4位（例：社会性と情緒の発達） 学習課題 復習：教科書38～49ページ 予習：知的発達（保育の心理学Ⅰ 第6章）</p> <p>第6回 関心ランキング3位（例：知的発達） 学習課題 復習：教科書50～55ページ 予習：知的発達（保育の心理学Ⅰ 第6章）</p> <p>第7回 関心ランキング2位（例：学習理論） 学習課題 復習：教科書56～61ページ 予習：自己と情動の発達（保育の心理学Ⅰ 第3章）</p> <p>第8回 関心ランキング1位（例：第一次反抗期） 学習課題 復習：教科書54～57ページ 予習：実践・発達心理学のもくじ概観</p> <p>第9回 生涯発達における問題設定 学習課題 復習：配布資料 予習：思春期の理解</p> <p>第10回 関心ランキング5位（例：思春期の心理） 学習課題 復習：教科書124～137ページ 予習：自我同一性の定義を確認</p> <p>第11回 関心ランキング4位（例：大人になるために一自我同一性の獲得―） 学習課題 復習：教科書76～150ページ、ワーク⑩ 予習：生涯発達の定義を確認</p> <p>第12回 関心ランキング3位（例：子育てと生涯発達） 学習課題 復習：教科書151～163ページ 予習：老い、加齢に伴う心身の変化について身近な例を考える</p> <p>第13回 関心ランキング2位（例：老いることと生涯発達） 学習課題 復習：教科書164～177ページ 予習：5年後、10年後の自分イメージする</p> <p>第14回 関心ランキング1位（例：保育者のキャリア発達） 学習課題 復習：教科書179～192ページ 予習：配布資料の確認</p> <p>第15回 まとめ 学習課題 復習：配布資料</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①保育実践現場で心理学を活用することを想定し、習得したい知識について整理する。</p> <p>②学生同士で意見を伝え合い、習得したい知識の収集方法について議論する。</p> <p>③心理学の知識をもとに自己の保育実践への考察を深める。</p> <p>④さまざまな保育実践に触れることで望ましい保育について考察できる。</p> <p>⑤保育実践現場で子どもの発達を支援する心理学的手法を考察できる。</p>
教科書・参考書	授業毎に配布する。
履修条件	「保育の心理学Ⅰ」の履修が修了していること。

履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で教室または研究室で質問を受け付けます。
備考・メッセージ	講義と演習を設けるため、学生の積極的な発言と議論を求めます。